

日六月一



定価 一部金 一月五拾五圓 郵費五圓
廣告料 五圓 十二字 第一行 金五拾圓
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社
電話 六二〇〇
社址 福島県石川郡平町長崎町三五五

陣中想出話

(其)

平町出身
歩兵第九聯隊
第三中隊 水野重光

月夜の討伐

「今晚はねむれないぞ」
現在の吾等兵士には夜と云はず晝と云はず寝るのが唯一の楽しみであり、慰安であり、誤樂である、それが今日十三日、あの山中ではち切れさうな緊張で警備してゐた橋梁哨を難なく申送つて少しは賑やかな支那部落ではあるが本部の位置へ歸つて来た、今夜はぐつすり寝られると思つたが當がはずれて、こゝから十里もある所まで夜行軍で匪賊の討伐だからこの歎息も無からぬ事と同情する、いでや歩兵の本領發揮して歩けや歩け十里二十里何のその、初めの五六里は元氣當るべからずの感がある折柄十月十四日の月は東山より現はれ蒼白き月光は今夜の討伐を助くる如く晝の様に明るく道を照してくる。

「お、今宵の月はよい眺めで御座うのう」
「如何にも左様で御座る」
「何と御同役此の月で一旬参らうでは御座らぬか」
「然らば拙者が一番槍り」
討伐に今宵はたれがくたばるか今夜の月は中空で

見る

「アハハ、アハハ、」
「いや名句一名句」
こんな多愛もない冗談を語りながら前進すること五六里ばかり行手にあたつて銃聲五六發

「や、怪しの物音何事で御座る」

ノット

血液は熱湯につけるとよく

とれませんからぬるま湯につけてしぼり上げ大根卸しをのせておくと奇妙に取れます、一度でぬけない時は数回くりかへします又極くわずかな汚點ならば冷水で洗ふか含み水にするか唾液をつけて洗ふととれます

「敵の間隙で御座らう」

「門出の血祭り幸先よい事で御座るのう」

とそれからは行けども行けども敵と遭遇しなかつた、少しは足疲たて来た、吾々こんな時二三十發ぶつばなすと元氣が出るのであるがこの飛具を使ふ機会がないから益々意氣下り、それに二時三時の丑満時となれば寒さは寒むし又睡魔も襲つて来た。

折しもあれや前方でジャブジャブと川を渡るやうな物音ならぬ水音、如何

刊

に馬でも此の寒さにと思つてゾツとする、前方で「オ、イ川を渡るから腰から下を全部ぬいで落ちない様に用意しろ」一同はがたものだと異音同音に長歎息、そ

うだらう寒くて振るへてゐるのに裸になれとは、すると最前の武士此の時とばかり最先に凍える手先で軍袴袴下靴下と終には禪まで奇麗にとつてしまつた、此の元氣に勵まされ一同皆寒さを我慢して裸になつた、砂の上には霜が真白におりて足は冷たいの何のは通りこ

二明日の献立

【朝】みそ汁—せん大根

【晝】煮肴—鹽引 タラ 枝こぶ

【晚】煮びたし—ほうれん草 油菜

して痛いのだ、それを歯をくいしばつてゐると、先の武士もの言はず市百米もある處を腰まで入つて「いでや者共我につゞけ」ジャブジャブと川を渡るやうな物音ならぬ水音、如何

等東北健兒古武士の意氣を

常磐歌壇

春日陽子

みなれたる街頭の灯にもやか、り光美し夢の國めぐ夜ざりたつ街に人なくふけて行きわれのみぞみる美しき街

行けどゆけど街頭の灯のつきぬ如もやたちこむる山あいの町

月もなく星も見えざり街燈の光冬めく霜月の風

金色のポプラの落葉吹き寄する冷めたさおぼゆ霜月の風

十年を導くと告らし、師の君のあつき御心にわびざらめやも

ひたむきに進精せむと誓ひてし十年の力我にはなきか

十年を學ぶと固く誓ひつゝゆるむ心は何故ならむ



美味!
芳醇!
宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

上田科醫院
平町 南町
電話一二九番

貨切の御用命は
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

玉屋洋品店
平町田町通電話五六六番

物質 一般 各種債券類

三井質店

平町四丁目四番
川目六番

木村科醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九

太平洋生命外務社員募集

身体強健 眞面目な奮闘家を求む
入社希望者は左記に申出でられたし

平町二丁目地球堂内
太平洋生命保險株式會社

磐城方部事務所

イヤ! 君!
いゝ冬服を求めたね
斷然三二年型だよ
いやコレカネ!
例の……「ソレ」
正札堂さ

平町四丁目停車場通電四三六

武勳輝く凱旋の將兵

懐しの郷土へ

平驛に三十分停車

ホームにはコモ冠りの祝酒

滿洲各地に輝く武勳をのこして凱旋の途上にある多門第二師團麾下の將兵は明七日より十三日迄左記の如き日割にて常磐線を通過するが平驛には特に三十分の停車を行ふ事として町役場では去る四日各關係者を招集して歓迎方法に就き協議せる結果男女青年團、在郷軍人、婦人會員等より手拭、菓子等を贈つて接待しホームには菰冠り數本を抜き祝酒を振舞ふ外各小學校、中等學生其他の團體が沿線に堵列して熱意をこめ大歓迎を行ふ事となつた

- 月日 着 發 歸 還 部 隊
- 七日 前五、五〇 前六、二〇 野砲兵第二聯隊本部及第一中隊
 - 七日 前一〇、一八 前一〇、四五 野砲兵第二聯隊第一大隊本部第二中隊 工兵二
 - 八日 同一〇、一八 同一〇、四五 第二師團衛生班野砲兵第二聯隊第二大隊本部第五中隊
 - 十三日 同五、五〇 同六、二〇 歩兵第三旅團司令部歩兵第四聯隊第二大隊及機關銃隊
 - 同 同一〇、一八 同一〇、四五 歩兵第四聯隊本部第一大隊

戦死者

一名もなく

吾等の若松聯隊に

平町出身の十六氏

われ等の若松歩兵廿九聯隊 勇士は東北本線經由の上來る九日午後二時十五分若松驛着にて凱旋する事となつたが縣主催の許に十一日午前十一時半より若松聯隊營庭に大歓迎會を催す筈にて平町出身兵は左記十六名で一名の戦死者も出さず縣民の歡呼を浴びる事となつた

- 赤津重美(一丁目)長谷川
- 芳雄(南町)井上榮市(柳町)
- 木村石之(正月町)深谷四三郎(堤ノ内)猪狩數三(梅ヶ町)小林隆雄(鎌田町)
- 志賀豊晴(四丁目)江尻進(六間門)柏原英介(五丁目)板橋芳夫(田町)
- 菅野淺雄(長橋)大島熊一(田町)佐藤玄之吉(研町)

町村長協議

豫算の編成を 石城町村長支會では來る十四日午前十時より平町役場會議室に於いて總會を開き各町村の豫算編成其他に就いて協議を行ふと

志賀監督書記退き

後任は小野榮一氏

志賀氏は司法界の主 小野氏は小壯冊八才 裁判書記として三十有餘年の長年月に亘り勤続し本縣司法界の主と稱せられた平區裁判所監督書記志賀庄三郎氏は此程後進に道を開いて退職、後任に小野榮一氏十八才の働き盛りである

自動車に分乗して

東京の出初を見學

平消防組頭井上茂作氏以下組員二十餘名は東京にて催される警視廳管内消防の出初式を見學すべく自動車に分乗して昨日午後出發した

高野卯之吉君逝く

健闘の人に不運續きの晩年

平町田町高野分店主高野卯之吉氏は病氣療養中の處突然容態悪化し遂に二日夜九時永眠した葬儀は十一日午後二時自宅出棺性源寺に於いて佛式執行の筈因に同氏は茨城縣東茨城郡の出身いはらき新聞平支局員として信用を博し同社を退へて後現在の場所に洋食器食料品等の店を開いて健闘し平町

平町人事

- △町五七 諸橋房吉氏三

喜調會温習會

社中喜調會主催の三曲合奏 彈初温習會は明日正午より四丁目マルトモホールに於て晝夜二回に亘つて開催される

男 圭三
△六間門二〇 眞木延甫氏
長女 幸枝

回 婚 姻
△西白河郡白河町大工町高橋義守氏(三九)平町南町二七矢野チヨ(三一)

△双葉郡久之濱町字中町橋本久平氏(二五)平町四丁目百澤富子(二二)

回 死 亡
△仲間町七一 岩佐コノ(七二)

△南町二一 鈴木シマ(七四)

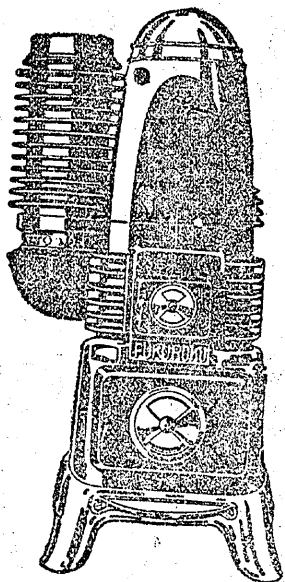
△堤ノ内二六 大塚サヨ(六七)

△田町三〇 高木フサ(六七)

△田町三〇 高木フサ(六七)

嚴冬の征服者

福祿ストーブ 戸に毎に福祿!!!四海は常春!!!



電話三七番へ

カタログ御申越下さい早速持參致します

福祿ストーブ福島縣一手販賣
阿部石炭商店
平停車場前

吉田眼科病院

平町星町、電話六八番

三井タクシ

目丁二町平 番五八六話電

平町の被害罹災者に 八日御下賜金を傳達

(既報)天皇陛下より御下賜された暴風雨被害民への御救恤金のうち平町分は此の程縣を経て割當られたので町當局では稲束の流失敷及び貧富の程度等を斟酌して被害者廿九名に對して聖恩に浴せしめる事となり來る八日午後一時より町役場會議室に御救恤金の傳達式を舉行すると

新年早々に 服毒心中

理髮師と酌婦

平町彌宜町居住理髮業柴崎八千代(三)は五日午前二時半頃六丁目飲食店備中屋事田中専次郎方二階に於いて同店酌婦石城郡内郷村宮生れ橋本ヨシノ(一)と共に理髮消毒用ホルマリン及び石炭酸を多量に嚥下して情死

辯護士に

依頼された 保證金を横領

伊藤兼吉收容さる

平町材木町十五番地伊藤兼吉(四)は本日平檢事局に於て小林上席檢事取調への上横領罪として刑務所に收容されたが事件の内容は昨年四月四日石城郡飯野村大字南白土字關根加藤

馬盗人

執行猶豫に

石郡郡山田村大字大井字山田蛭田正義馬丁藤田金治(三)が昨年十二月四日松本吉三が放牧中の栗毛牝馬一頭を窃取した窃盗事件の公判は去る四日平區裁判所に於て竹内判事係り上田檢事立會の下に開廷され事實問の上檢事より懲役八ヶ月を求刑あり結局懲役八ヶ月三年間執行猶豫を言渡されたと

債務者の家へ 暴れ込んだ金貸

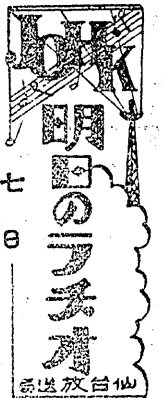
住居侵入で罰金に處され 不服とあり正式才判申立

平町材木町十四番地金貸業鈴木淺之助(三)は債務者である同町二丁目菅野勇が平區裁判所に對し債務調停の申立をなしたのを憤慨し舊臘八日午後九時頃同人家へ

平附近を荒す

前科四犯の賊逮捕さる

田村郡川森町字御免生れ當時住所不定川前國之助(四)は窃盗前科四犯の強か者で去る三日好間村大字北好間字上野六一大河原シヅカ方の不在中に忍入り現金三圓餘を窃取逃走し五日午後八時



明日のラジオ

今晩は北東の風小
雪模様明日は北西
の風次第に快復の
見込み

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
「室内楽」アルメリア五重奏團
後六、二五 國立公園特別講座 伯耆大山雪吹敏光
後七、三〇 新内「鶏聲」婚禮の段富士松富士太夫外
無断家出捕る 茨城縣稻敷郡岡田村農飛田又一長男隆(一)は昨五日期無断家出し平町へ向つたので實父よりの願出により同日午後三時頃湯本驛に到着した處を取押へた

實父の證書類を 倉庫から持出し

賣込まんと徘徊中捕る

石城郡高久村大字下高久字舞内一二三鈴木太吉の長男房吉(三)は十二月卅日自宅倉庫より實父所有の額面二千圓の國庫債券及び千餘圓

男に飽かれて 酌婦獨り情死

石城郡好間村字上好間飲食店吉野屋事高木ナイ方抱酌婦新瀧縣西蒲原郡卷町生れ大瀧ミサヤ(一)は昨五日午前八時頃自宅に於いて猫イラズを噛み自殺を遂げたので

收容者相次ぐ 築港事件益々擴大

既報小名濱築港事務所長高野三官三等樺木篤夫氏の事件に關し小名濱醫師久保田眞同町請負師高木武士、平町大町請負業馬目雄次郎の三

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一〇七

平職業紹介所報告

- 回人を求める方
△女中 二十五迄 尋卒
給料面談(植田町某)
△出前持 二十才 尋卒
給料面談(平町某食堂)
△店員 二十才 高卒 給料面談(平窪村某)
△自動車助手 十六迄 尋卒 仕着小遣(平町某)
回職を求める方
△菓子職人 四十八才 高卒 給料面談(北海道某)
△商店雜役 二十七才 高卒 給料面談(會津郡某)
△行商人 五十才 高卒 給料面談(平町某)
△事務員 二十一才 中卒 給料面談(大浦村某)
△銀冶工 三十才 尋卒 給料面談(宮城縣某)

豪末剣子

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百三十六席

平手造酒

癪に障つた七助

銚子の観音前の花屋の女中は七助の出した二兩の金を見てこんな人が持つてゐるなれば注文通りのお魚を出すものを服装が粗末とてこの勘定が出来まいと思ひ不漁だと云つたは、之は感違ひをしたと後悔したが今更お魚はございませとは云へない何んぞ身づくろつて参りませうと座敷を出たがやがて生玉子に鹽焼の肴を添へて酒を持つて来た七助は女に三百文祝儀を與へ

うだ、姐さん一つ飲まねえか
女「わたくしは不調法でございませう」
七「それは野暮な事だな酒は米の水、水戸様圓に水意見する奴向ふみず、旨え事を云つたもんだな、何んだ

レ、女總同勢五人だ何んぞ口に合ふものを五六品出してくれ
女「畏まりましたでございませう、この二三日お魚が大量とれまして富貴でございませう」
〇「ウムさうかそれは目出度いことだな漁師町に魚の大漁は海から小判が湧いて出るやうなものだ、さアさ酒を持つて来い」

と云ふを耳にした七助隣座敷を覗くと二十五六の武家が一人それに甲斐々々しき扮装をしたものが四人程居り女中が二人出て世辭を云つてゐる、七助は自分の

で一方が大漁なところがあるか
女「何うも悪いことがお耳に入りましたねあなたお聞きになつたの」
七「聞へたから云ふのだ一體隣に來てゐる人は何んだな」
女「あれは御陣屋の御役人様でございませうよ」
七「ウム銚子には陣屋がある千両八萬石が銚子の陣屋で支配をしてゐるさうだそこの役人か一緒に來てゐる奴等はなんだ」
女「何うぞあなた静かにして下さいよ役人様に聞へるとわたくし共が迷惑いたします」
七「聲を出すに迷惑はなからう」
女「どうぞ大きな聲をださないやうにして下さいな」
七「それはどんな聲をだすだ、のう姐さん御役人様は判つたが供をして來たあの入達は何者だ、皆脇差を差してキリ、ツと服装もしまつてゐるが只者ではねえな、長脇差ではなからう」
女「親分衆でございませうよ」
七「親分衆親分衆とは何んだ」
女「御陣屋の御用を聞いておいでなされる目明し衆でございませうよ」
七「ウム目明しか目明しと云へば役人の下を働いてぬだの」
女「なんですわあなた親分衆に聞えますと飛んだことになりませう」
七「飛んだこととはどんな



七「酌をしてくれろア、良い酒だ、これは灘だな下りの酒を飲んで地酒は飲めねえ、ウム良い酒だ姐さんどんく、酒をつけて来ておくれ、酒飲みは肴はいらぬといふがさて膳が淋しいと酒も旨く飲めねえ箸をつけずとも五ツ六ツ並んでゐた方が見たまがいなモウこれより何もねえか」
女「不漁でございましてお肴はございませせんが其の内に濱に見せに遣りましてありましたら取り寄せる事にいたしませう」
七「さうかウム何時飲んでも酒は良い味がする、何

〇「ア、くたびれた、ブラ、歩くは疲れるな」

〇「ア、くたびれた、ブラ、歩くは疲れるな」

〇「ア、くたびれた、ブラ、歩くは疲れるな」

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
林病 腸虫病 十二指
村松 腸胃病 傷性病
院醫科 〇七一話電

看護婦急派
 の求めに應じます
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

事だ役人の下を働いてゐるのは先ず犬犬を座敷に上げて酒をのませることは勿體ないことだ
 女「どうぞあなた歸つておくんない」
 七「この阿魔めお客様に向つて歸れとはなんだ、一體汝は最初から氣に喰はねえこの馬鹿阿魔め」
 女「何をすすねいけませんよ、そんなことをしては」
 七「打つたが何うした俺に錢がねえと思つて不漁で魚がねえと吐つたな俺には不漁だと云つて隣座敷にゐる客には甘え物を出して途方もねえ阿魔だこの畜生め」
 女「ア、ア、いけませんよ」と大きな聲をあげる

三河産業博覽會 金牌受賞
 昭和产业博覽會
かまぼこ 製造
お茶屋 吉原場
一本茶屋
 電話一四一番

内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
 入院需應
 平町紺屋町
 電話五〇七番

りん病 永らく悩む人の福音
 八丁の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
岩別府温泉
 全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
 雜誌 推獎 い方がありませうか
 右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、過渴の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各藥であります。
 尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
 論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
 美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
 代金引換廿三錢手数料金納の事。
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
 慢性用(赤箱) 一週分 五圓
 特約 平町古鍛冶町一〇
阿康藥舖
 手販賣 縣社ノ下(電話四四番)